

試合名、会場、日時を書く。



日本バスケットボール協会公認 ミニバスケットボール・スコアシート



試合名	県夏季大会	会場	ビッグホエール	2007年7月23日(10:30)	No. A-2
チームA		チームB		主審	A・スコアラ
合計 33 { 8 - 4 11 - 9 7 - 7 7 - 7 } 延長		合計 27		副審	タイマー
				スコアラ	30秒オペレーター

チーム名・各クォーターの得点および合計点を書く。

サインはゲーム終了後にスコアシートの記録がすべて書き終わってから、アシスタント・スコアラとタイマーがサインをし、つぎに30秒オペレーターとスコアラがサインをする。最後に副審と主審の順にサインをする。

チーム名、ユニホームの色を書く。

×を記入。使わなかった場合はーを書く。

チームA (白)		タイム・アウト		ファウル	
選手氏名	No.	出場時限	ファウル	1Q	2Q
		① ② ③ ④	1 2 3 4 5		
1	4	/	P'1 P'1 P3	1	2
2	5	/	P'2 P3	2	3
3	6	/	P3 P3	3	4
4	7	/		4	4
5	8	/		3Q	4Q
6	9	/		1	2
7	10	/		3	4
8	11	/		4	4
9	12	/			
10	13	/			
11	14	/			
12	15	/			
13	16	/			
14	17	/			
15	18	/			
コーチ:		T3			

選手名・番号、コーチの氏名を書く。

ファウルがあるたびに×でそのクォーターの枠の数字を消す。延長は4Qの続きとなる。

各クォーター、出場するプレイヤーに斜線／をひく。途中から交代しゲームにでたプレイヤーには反対の斜線＼をひく。

選手・コーチのファウルは、1回ごとにファウルをした選手・コーチのらんに記号を書く。ゲームの終わりに残った枠に線を横にひく。

■ファウルの記号

- P: パーソナル・ファウル
- T: テクニカル・ファウル
- U: アンスポーツマンライク・ファウル
- D: ディスクォリファイング・ファウル
- フリースローが与えられる場合は'を加える。(例: P')
- 各クォーターの数字を加える。(例: P2)

ランニング・スコア

A	B	A	B	A	B
1	1	41	41	81	81
4	2	42	42	82	82
3	3	43	43	83	83
6	4	44	44	84	84
5	5			85	85
10	6				
7	7				
11	8				
9	9				
5	10				
7	11				
7	12				
13	13				
8	14				
15	15				
9	16				
13	17				
18	18				
5	19				
20	20				
4	21				
22	22				
5	23				
6	24				
25	25				
7	26				
27	27				
5	28				
29	29				
7	30				
12	31				
32	32				
14	33				
34	34				
35	35				
36	36				
37	37				
38	38				
39	39				
40	40				

フィールド・ゴール
得点したチームのランニング・スコアラの数字を／で消していき、となりのらんに得点をした選手の番号を書く。

フリースロー
得点したチームのランニング・スコアラの数字を●で消していき、となりのらんに得点をした選手の番号を書く。

クォーター・延長終了
各クォーター、各延長時限の終わりに各チームの最後の得点を○でかこみ、枠の下に1本の横線をひく。

ゲーム終了
合計得点を○でかこみ、枠の下に2本の横線をひく。その下の使わなかった枠には斜線＼をひく。